

ひろしまの 住まい事例集

Vol.4

広島県の自然と地域にあった住まい



広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

●構成団体

(公社)広島県建築士会、(一社)広島県建築士事務所協会、(一社)広島県建築センター協会、(一社)広島県工務店協会、
(一社)広島県木材組合連合会、(一社)広島県住宅産業協会、(一社)全国住宅産業協会中国支部、
(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部、(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部、
広島県森林組合連合会、広島県家具工業連合会、(株)スガノ(株)小野産業

●オブザーバー参加

広島県土木建築局住宅課、広島県農林水産局林業課

●協議会事務局

(公社)広島県建築士会 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F Tel: 082-244-6830
E-mail: info@k-hiroshima.or.jp ホームページ <http://www.k-hiroshima.or.jp/>

発行 2016.2



ごあいさつ

Greeting

自然を大切にした持続的な暮らし方が問われています。

木は大気中の二酸化炭素を固着し、さらには再生が可能な資源の一つであり、

木造住宅は木の最大の消費先といえます。

また、あらゆる分野において省エネルギー化の推進が求められており、

住宅についても国では、平成32年までに、

全ての新築住宅について省エネルギー基準への適合を義務化する方針を打ち出しております。

こうしたことを契機として、平成24年度、広島県内の木材生産、建材流通、設計・施工に携わる

住宅生産者が連携してスキルアップや地域の木材の利用拡大等を推し進めることを目的として、

「広島県木造住宅生産体制強化推進協議会」を設立しました。

今後は、地域で産出される木材を使い、建つ場所の気候風土や敷地の状況に配慮しながら

省エネルギー基準に対応し、さらには長期にわたって利用できる耐久性などを備えた

優良な木造住宅の普及促進に取り組んでまいりたいと考えております。

この事例集は、昨年度に引き続き、優良な木造住宅の普及促進の一環として作成したものであり、

より多くの人の目に触れ、

これから住宅の新築やリフォームをされる方の参考となることを願っております。

最後に、この事例集作成に当って御協力いただいた多くの建築主、設計者、

並びに施工者の皆様に対して厚くお礼申し上げます。

平成28年2月1日

広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

会長 元廣 清志

目次

Contents

県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例

小泉の家～時代を超えて住み継ぐ～【ef設計室・(有)フカガワ】	P5-P6
ガレージのある家【しおた工務店】	P7-P8
家族が集うペレットストーブのあるあったかい家【(株)大喜】	P9-P10

省エネ基準への対応

世羅の家【橋本建設(株)】	P11-P12
岩成の家 築95年リノベーション【(有)宮原エム店】	P13-P14
坪生の家【今川建築設計(株)共栄店舗】	P15-P16
本浦の家【カオル建設(株)】	P17-P18
ブルックリンスタイルの煉瓦積みの家【(株)池芳工務店】	P19-P20
省エネ対応の診療所併用住宅【菱和建设(株)】	P21-P22

地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応した事例

緑陽の家【一級建築士事務所プラス・ワイホーム(株)】	P23-P24
四季を感じる家【(株)和田組】	P25-P26
長束で蘇った古民家【(株)ハイランドハウス】	P27-P28
オーシャンビューの白い家【(株)加度商】	P29-P30
焔の家【(株)住宅工房 創・リフォームウイズ】	P31-P32
築45年戸建リノベの家【(有)ホームサービス植木 LIXIL リフォームショップ】	P33-P34

ひろしまの住まい事例集 ~自然と地域に合った住まい~ の作成について

About creation of the example collection of Hiroshima houses.

①目的

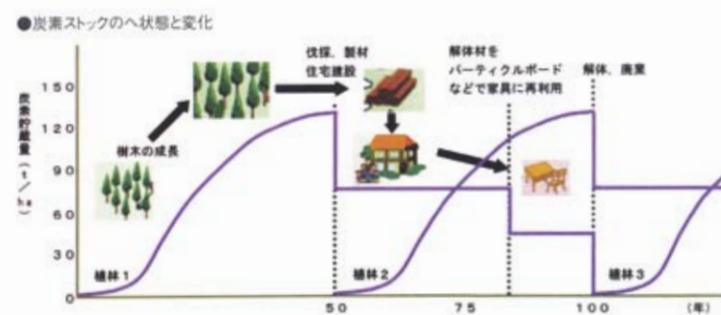
住宅は本来、建つ場所(地域)の気候風土や敷地の状況などに応じて個々に計画され、その地域を熟知した工務店などにより建設されてきました。昨今は大半の部分が規格化された住宅が増えつつありますが、こうした従来からの「地域型住宅」とも言うべき住宅の建て方も再評価すべきと考えました。そこで、県内の「地域型住宅」の優れた事例をわかりやすく取りまとめ広く紹介することで、これから住宅の新築やリフォームをされる方の参考としていただき、より良質な住まいづくりの一助となることを目的とします。

②事例選定のコンセプト

今後の住まいづくりに求められる視点として次の4つのコンセプトを設定し、このコンセプトに沿って優れた創意工夫のある事例を「ひろしまの住まい事例集」として取りまとめました。

①地域材(県産材)利用

地域で産出される木材を積極的に利用することは、木の生産・消費のサイクルを生むことにつながり、二酸化炭素の吸収源である森林の適切な保全にもつながります。



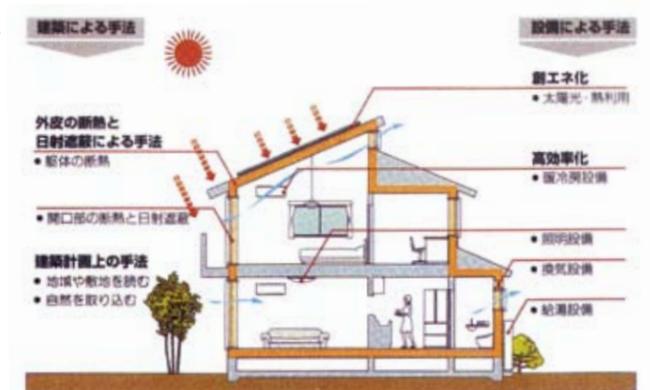
②長期利用への対応

住宅を長く大切に使い続けることは、住宅生産に伴う消費エネルギーを直接減らすことにつながります。

長期にわたって利用するための耐久性や、家族構成の変遷に合わせた間取りの可変性などが今後の住まいづくりにおいては求められます。

③省エネルギー基準への対応

地球環境問題への対応の一つとして、住宅での消費エネルギーを減らすことが重要です。今後の住まいづくりにおいては、住宅の断熱性を高めるなどの従来の取組みに加え、地域の気候や敷地に応じた自然の光・風を取り込む工夫も必要です。



④地域の気候風土や敷地の状況への対応

住宅には、建つ場所(地域)の気候風土や敷地の状況などに応じた多様な形があるべきです。こうした個別の事情を考慮し、設計や工事の各段階で創意工夫することが求められます。

③広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

住宅生産に係る次の関係団体により構成される協議会です。

【構成団体】

(公社)広島県建築士会、(一社)広島県建築士事務所協会、(一社)広島県建築センター協会、(一社)広島県工務店協会、(一社)広島県木材組合連合会、(一社)広島県住宅産業協会、(一社)全国住宅産業協会中国支部、(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部、(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部、広島県森林組合連合会、広島県家具工業連合会、(株)スガノ、(株)小野産業

【オブザーバー参加】

広島県土木建築局住宅課、広島県農林水産局林業課

【協議会事務局】

(公社)広島建築士会 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F Tel : 082-244-6830



県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例



三原市

小泉の家 ~時代を超えて住み継ぐ~

【建築主】 Y様

【設計者】 ef設計室 梶田 栄子 ☎0847-33-0668

【施工者】 有限会社フカガワ 梶田 正文 ☎0847-33-0668



before



after



リフォーム前外観

外観

明治時代から変わらずこの地の風景を形作る外観は、そのままに継承した。古来からの漆喰と焼杉の仕上げとした。

設計・施工者の創意工夫点

明治中期に建てられたというこの家は築130年を超える。先祖から受け継いだ家を直して、今後の人生を安心して心地よく暮らしていきたい、という熱い思いから計画が始まり、打合せを重ねた。民家の持つ、田の字型のおおらかな架構を利用して、古き家の記憶を留めつつ、くらしの場を設えた。暗くなりがちな古民家の内部だが、回遊動線と「抜け」を作ることで、光と風が通り抜ける機能的な空間とした。当初、減築を提案した離れであるが、小さいながらも妻の実母の「終の棲家」として作り直し、建築主の要望に応えた。

事例の特徴

- [国]: 木材利用ポイント
- [県産材利用量]: 5.6㎡



土間

天井を取払い、すっきりした土間空間に。近所や友人とのコミュニケーションの場であり、この家のハレの場である。

古い家の記憶

土間に樺(ケヤキ)単筒を再利用し、天板には縁側の桜板を貼った。古い家の記憶を留めた。



居間の吹抜け

光と風をたくさん取り入れるため、かつて養蚕が行われていた床を取払い、吹抜けとした。



居間

南の明るく風通しのいい場所に、集いの居間を設えた。庭や土間、和室へとつながる。家具は全て大工製作である。



台所

北側にあるも、山に向かって窓を開放し、天窓を設けることで、心地いい台所とした。天窓は排熱も期待する。



和室

明治から平成までの、年を重ねてきた家に敬意を表し、断熱、補強など最低限を施し、姿をそのままに留めた。



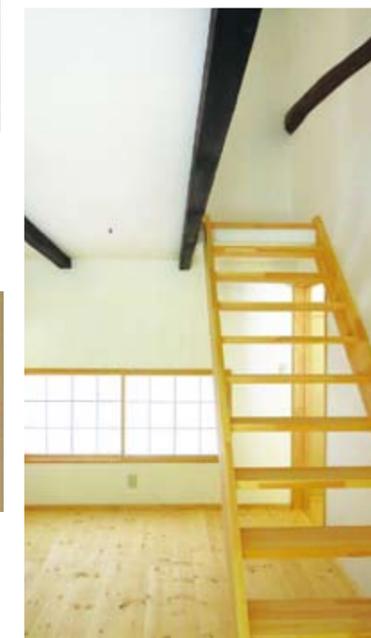
二階主寝室

天井高を確保するため、屋根断熱の勾配天井とした。吹抜けて居間へとつながる。



実母の家

減築予定であった離れを、実母の家へ。わずか36.9㎡であるが、家の機能は全てもたせた。



回遊動線

居間の北側の部屋は、回遊動線上にあり、階段、トイレとして機能。障子を放てば光も風も通る。



県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例



安芸高田市

ガレージのある家

【建築主】 K様
 【設計者】 (有)塩田工務店一級建築士事務所 塩田 崇 ☎0826-45-3658
 【施工者】 しおた工務店 塩田 崇 ☎0826-45-3658
 【企画立案者】 しおた工務店 塩田 崇 ☎0826-45-3658

全景

緑豊かな田園風景の中、ガルバリウム鋼板の黒×塗装杉のキャメルのコントラストがきれいな外観。ガレージを一体化させ、室内2ヶ所の扉からの出入りを可能に。建物南側、片流れの屋根には太陽光発電を搭載している。



設計・施工者の創意工夫点

もともと建築やインテリアに興味を持たれていたK様。内装のポイントともいえるホワイトオークの床材やリビングで存在感を放つオールステンレスのアイランドキッチン。愛車が余裕で収まる広いガレージや、趣味に没頭できる隠れ家の書斎などこだわりを細部まで盛り込んだ。平成26年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業に採択され、太陽光発電の搭載や樹脂サッシを採用し断熱性に優れた一年中快適な住まいを実現した。

事例の特徴

●平成26年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業 (ZEH)



ダイニング

床は強度や耐久性に優れたホワイトオークの無垢材。化粧梁やダウンライトがすっきりとした空間を演出した。塗り壁材はホタテ漆喰。食器や食品が十分に収まるパントリーも備え付けている。

玄関

玄関周りはゆったりと広めに設計。杉張りの天井、格子風の建具などが和の趣で来客を迎える。向かって左側にガレージにつながるドアがある。



キッチン

リビングでひととき存在感を放つオールステンレスの広いキッチン。掃き出し窓からはのどかな自然風景を眺められる。



畳コーナー

小上がりの和室には畳を敷き、冬に大活躍する掘りごたつを完備。



書斎

ギターや読書を楽しむ書斎。廊下や玄関ホールから床面を下げ、ガレージからスムーズに出入り出来る。

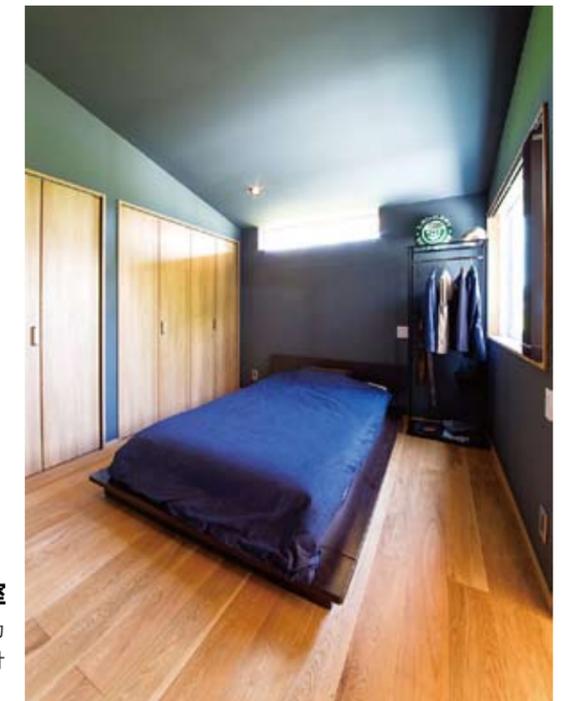


洗面室

壁面には大きなタイルを採用。デザイン性に優れたイタリア産の素材を選び、モノトーンで美しく配列。

寝室

しっかりと休息出来るダークカラーの寝室。窓も小さめに設計した。





県産材を利用し、長期利用への対応の面でも優れた事例



東広島市

家族が集うペレットストーブのあるあったかい家

【建築主】 K様

【設計者】 暮らし工房 楽 清原 博幸 ☎090-2867-1088

【施工者】 株式会社 大喜 ☎082-875-3300

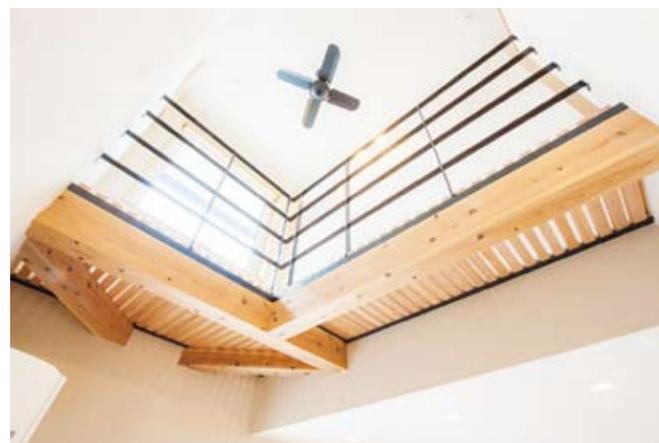
全景

グレーがかった白い外壁はシラスそとん壁を採用。通気性、防水性に優れたメンテナンスフリーが特徴。ザラリとした手触りで素朴な質感が魅力。



スタディコーナー

子供たちのスタディコーナーは掘座卓式のセミオープン。机の背後にはランドセルなどがしまえる収納スペースもある。



吹き抜け

リビングの入口に広がる吹き抜け。手摺に黒いアイアンを用い室内にインダストリアルな風景。

設計・施工者の創意工夫点

南の開口部を大きく取り、採光と通風を優先。家族が集うリビングダイニングはその恩恵を最大限に受けられるよう設計した。軒を深めに取ったので四季を通じて快適な家。強く、暖かく、おしゃれに。そして家族が暖かく快適な家に。

事例の特徴

- 長期優良住宅
- 「県産材使用部位」
主要構造材 96%
- 「地域産材使用部位」
主要構造材 4%



和室

壁は珪藻土・天井を木質化にし気持のよい空間

リビング

南側に向けて広い敷地なので開口部を大きくし、吹き抜けやペレットストーブを設置。また家の強度を上げるためリビング中央に太い北山杉の大黒柱をプラスした。床にはナラの無垢材・壁には珪藻土・天井に和紙と自然素材を内部の仕上げに採用。



安芸珪藻土

壁は珪藻土を使用。これらの壁は全て両家の両親も誘いみんな塗られました。玄関には完成記念の家族手形を残した。



世羅の家

【建築主】 T様

【設計者】 橋本建設株式会社 延平 司 ☎082-878-1110

【施工者】 橋本建設株式会社 橋本 英俊 ☎082-878-1110



昭和初期から町を見守ってきた家。新しい家族を迎えた今も、昔のままの外観を残している。



リビング

3つの和室を1室(15帖)にした。床は30mm厚の杉フローリング。南面に掃出しサッシを設置し採光と景観に考慮した。



設計・施工者の創意工夫点

築約80年の中古住宅を購入。日本家屋が好きというご主人の意向により広縁のある和室はそのままにした。家の中心にキッチンを設置し家族がどこにいてもわかり、窓開けると風が家の中を横切るようにした。新建材、クロスは一切使用せず無垢材、自然素材を使用。壁、床、天井全てに断熱を施し、壁、小屋裏の補強も行った。“日本家屋に住む”という住み方の文化を“家族”で継承していただきたいという思いでプランした。

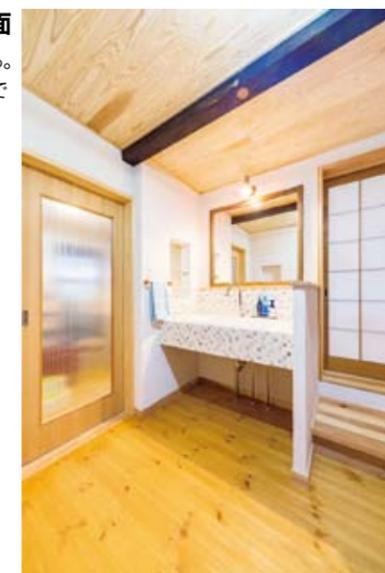
事例の特徴

- 世羅町定住促進空き家活用事業補助金
- [国]省エネ住宅ポイント



キッチン

部屋の中心に配置することで家中への動線を確保。小窓を開けると家の中を風が吹き抜ける。



洗面

元土間だったところ。家族が並んで使用できる大きさ。



小窓

他現場で見つけた古ガラスを利用。ふたりのお子さんの名前と同じ。

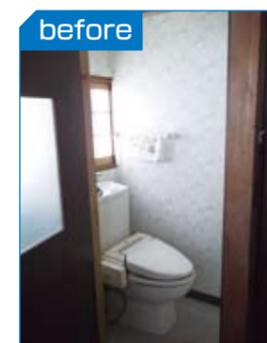
トイレ
無垢(クリ)の床の一部にタイルを使用し掃除しやすくした。天井、腰壁は杉、漆喰の塗壁と和風にした。



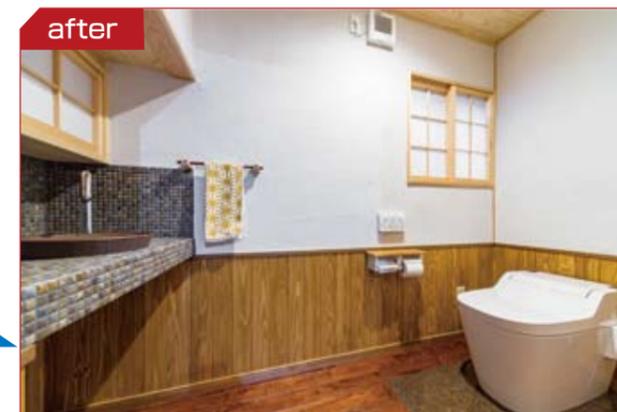
before



after



before



after

リビング天井

小屋裏ロフトからリビングを見渡せる。古い梁が古民家の良さを強調する。

廊下

床を杉に貼り替え、天井、壁は既存。建具は既存再利用。





岩成の家 築95年リノベーション

【建築主】 岡本 照造 様

【設計者】 有限会社 宮原エム店 石川 晋次 ☎084-963-2759

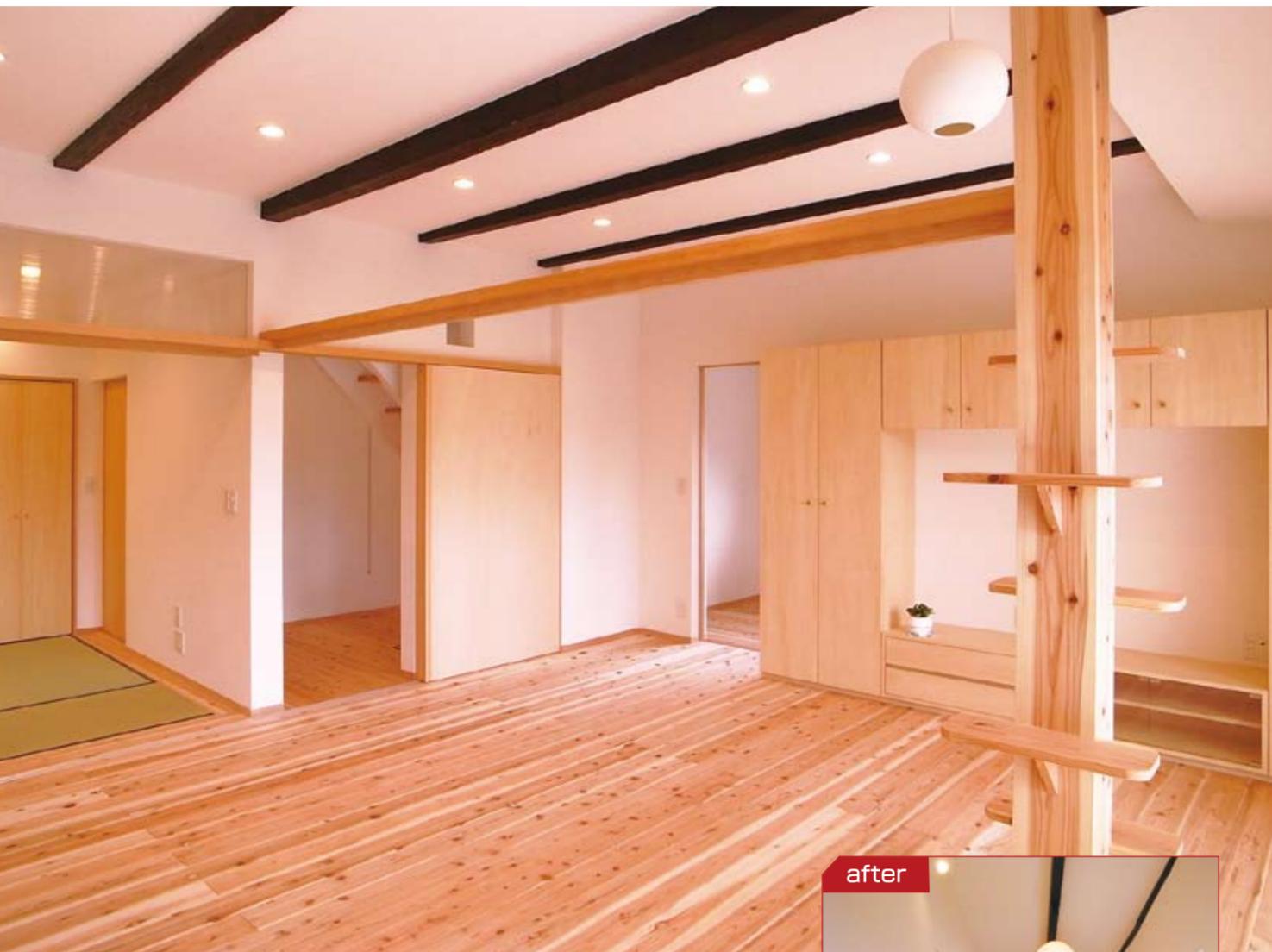
【施工者】 有限会社 宮原エム店 宮原 伸明 ☎084-963-2759

設計・施工者の創意工夫点

1階はLDKを南側に配置して明るさを確保した。同時に和室を引戸によってLDKと仕切り、普段は大きな一室とすることで田の字型の間取りの風通しの良さを活かした。元々離れにしかなかった浴室、トイレを新設し、階段は勾配を緩やかにして架け替え、それらを繋ぐ廊下部分は吹抜けを介してハイサイドライトから安定した明るさを与えている。2階は屋根勾配に合わせて高天井とし、同時に隠れていた丸太梁を露出した。95年前の材木がしつらえの一部となってこの家の歴史を感じさせている。

事例の特徴

- 土台、大引、柱、フローリングに県産材・地域産材を使用
- [国]省エネ住宅ポイント



LDK

LDK。床全体を下げて天井の高さを確保し、主居室の中心性を持たせた。



before

玄関

玄関。床高さを下げて、上がりやすい高さとした。東側に開口を設け、明るさを確保している。



after



個室

個室1、2。勾配天井によって梁が露出し、古木の存在感が空間を引き立てる。



LDK

和室からLDKを見る。引戸によって仕切られる。大きなワンルームにもなり、風通しも良い。

廊下階段

階段に面して吹抜けとし、ハイサイドライトからの安定した光を導いた。



LDK

縁側を内包して明るさを確保している。既存の鴨居の面影を持たせたキャットウォークが部屋を横断する。





省エネ基準への対応



福山市

坪生の家

【建築主】 K様

【設計者】 今川建築設計 今川 忠男 ☎084-953-2729

【施工者】 株式会社共栄店舗 織田 誠二 ☎084-953-1650

設計・施工者の創意工夫点

敷地は福山市郊外に位置し、両親が住む母屋の隣である。南北を軸とした十字プランは、家族が集まるリビング・ダイニングを中心に回遊性があり、引き戸の操作で空間を緩やかに分節することで、柔らかな一体感を生み出している。構造材は、広島県大峰山の佐伯杉を選定し、床や天井の内部仕上げには木材を使用し、壁は珪藻土塗りとした。自然素材と木の持つ表情のやさしさ、肌のやわらかさを感じる空間づくりとしている。

事例の特徴

- [県]県産材消費拡大支援事業
- [県産材使用箇所]
杉:梁桁・柱・垂木
桧:土台・大引

東面ファサード

擁壁で少し高台となる敷地に建つ。軒高さを揃え水平ラインが強調される。眼下には稲穂が広がる。



リビング・ダイニング(1)

天井は杉板張り 30mm 化粧垂木 120×60 壁は珪藻土塗り 床はナラフローリング 天井の高さは2,680~4,150



リビング・ダイニング(2)

木の架構を現しにすることで、木の力強さを感じると共に木に包み込まれた安心感が生まれる。



キッチン



南面ファサード

リビングの框戸を戸袋に引き込むことで庭とリビングの境界をゆるやかにする。



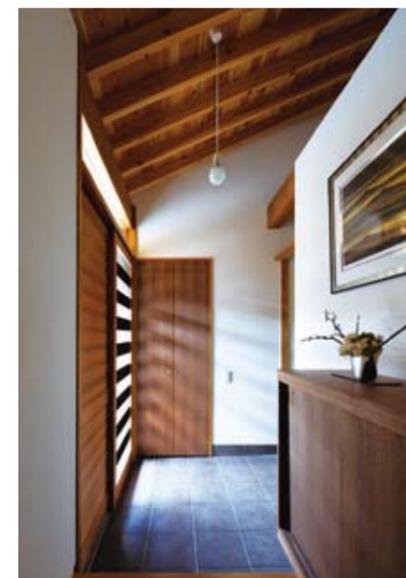
子ども室



エントランス



エントランス(夜景)



玄関



本浦の家

【建築主】 D様
 【設計者】 カオル建設(株) 1級建築事務所 衣川 充治 ☎082-288-7708
 【施工者】 カオル建設(株) 衣川 知孝 ☎082-288-7708
 【企画立案者】 カオル建設(株) 1級建築事務所 ☎090-4895-3785



このお住まいは、広島市内の閑静な住宅地に原爆の投下される前に古材を利用して建てられました。原爆投下の時相当にダメージを受けて、家は傾いていましたが、それを鉄骨を入れてまっすぐになるように直したことを覚えていてと施主さんは語ってくれました。

原爆投下からも70年以上も時をへていますが、幾度となくリフォームをされて、現在まで住宅として住続けられています。

広島市というところは、瀬戸内海岸沿の穏やかな気候だと思われていますが、冬の平均最低気温1.7度 平均最高気温9.6度と放射冷却の影響もあり寒暖の差は大きく、広島市に住む殆どの人は寒さが厳しいと思っています。

今回はスマートウエルネスの補助金を申請して断熱リフォームをされました。

こういう古民家は我々建築をするものにとっては、愛着を感じるものでもあります。出来るだけ次の世代にも残せるようにと考えてリフォームの工事を行いました。



写真は設計前に小屋裏現調した時の写真です。これを見たとき70年以上も目のみなかった小屋裏の木材に命を吹き込めと暗闇から声が聞こえたようでした。梁にはクイ虫に食われた跡があり、梁のあちらこちらに傷や使われていないほぞ穴がありましたが、それらは宝物のようにみえました。

何度もリフォームを重ねたこの住宅は、すべての窓ガラスは2重化されていましたが、1階の床と2階の天井の断熱はなされていませんでした。断熱改修で脳梗塞、心筋梗塞の心配を少なくする目的がスマートウエルネスの事業だと思えます。

写真を見てもらうと天井の断熱が全く無いことも気が付かれます。寒さを防ぐのはわずか数ミリの厚みの天井板だけです。寒かったのは当然のことです。

設計・施工者の創意工夫点

断熱改修としては、決して高い断熱性ではありませんが、気流止めを意識した効果的な断熱改修を行っています。土壁部は静止空気を作ることで多少の断熱化を図りました。施工のポイントは、新築時に移築され隠れていた小屋梁を表に表し、新たな命を吹き込みました。その梁は、天井を高くするために廻縁が来る位置が削り取られていましたが、無収縮モルタルにて元の形に復活させました。又その柱の補強に4本の柱を増設しその空間を強くまた魅力的に復活させました。床材は県産材の松のフローリングを使用しました。松ヤニを心配していましたが、乾燥がシッカリされていてヤニの発生はありませんでした。県産材のヤニの無い松と弁柄を塗った古い小屋組みと断熱化された建物は穏やかに素敵な空間を演出してくれました。

事例の特徴

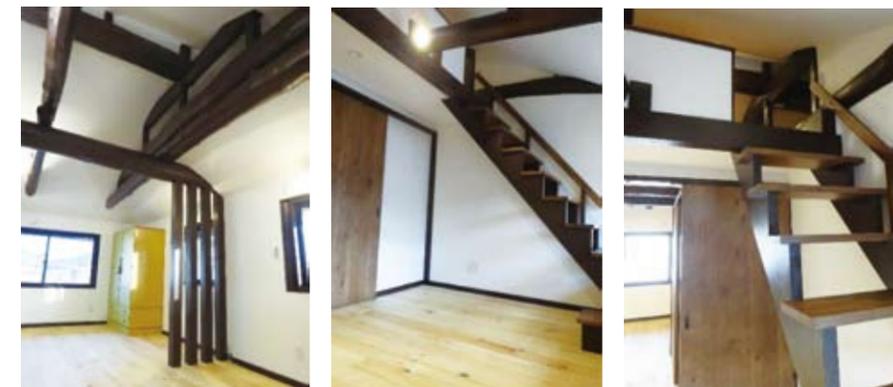
●県産材：松のフローリング



新設したロフトは小屋梁の中に落とし込み床剛性を高めた。耐震性は向上したといえます。



【断熱改修の内容】
 屋根：セルロースファイバ250mm 壁：土壁＋静止空気 床：断熱セルロースファイバー150mm すべての窓ペアガラス アルミ樹脂
 冷房期の外皮平均日射熱取得率 2.3
 暖房期の日射熱取得量 12.95
 熱損失係数 3.583W/K
 外皮平均熱貫流率 1.31W/m²K 気密測定C値 2.9cm³/m²
 【県産材・地域材】松フローリング2階の床に使用しました。ヤニが気になりましたが、乾燥が行き届いていて、それはまったくありませんでした。弁柄を塗られた古材と相性が良かったです！



これまで引き継がれてきた和室ですが、冬は寒くほとんど使われていませんでしたが、暖かくなり太陽の熱が心地よさを増やしてくれるように変化しました。こういう素敵な和室が心地良く使われるようになるのがうれしい！

住まいは、温度差は出来るだけ少ない方が良い。現在は交通事故より脳梗塞、心筋梗塞で家庭内で亡くなる人が多くなっています。年間で17000人もの方がヒートショック関連でなくなっています。12月～1月にかけて8月の10倍以上の方が急増します。寒さによるヒートショックは年を重ねるほど生命を脅かすものになります。そして怖いのは後遺症を残すことです。上の和室の写真は、床と天井にセルロールファイバーによる断熱工事を終了したときの昨年1月の暖房の無い時の写真です。ケストレルで室温20.8湿度38.9%を示しています。理想的な室内環境に変貌しました。

以前天井を高くするために、削り取られていた小屋組みを受ける大切な梁、この無残な姿を復活させるために無収縮モルタルを幅広のテープで形を整えた型枠に注入させた。無収縮モルタルは、硬化しても収縮せず木材に新たな命を与えてくれました。木材を補強する方法として、無収縮モルタルは木材とは相性が良く、強度、雰囲気とも良い効果をあげています。





ブルックリンスタイルの煉瓦積みの家

【建築主】 TA様
 【設計者】 IKEHOUSE (株)池芳工務店 ☎082-845-5858
 【施工者】 IKEHOUSE (株)池芳工務店 ☎082-845-5858
 【企画立案者】 IKEHOUSE (株)池芳工務店 ☎082-845-5858

設計・施工者の創意工夫点

南側に大きな窓を設けて夏の日差しをカットし、冬の光を室内に取り込めるようにしました。冬は薪ストーブだけで暖房し、床タイル・室内煉瓦に蓄熱させて1階には扉が一つもないが1日中快適な環境で省エネ。内装も憧れのブルックリンスタイルを実現した煉瓦積みの家。

事例の特徴

- Q値:1.7
- C値:0.5
- 省エネ等級:4
- 太陽光:4.5kw
- 樹脂枠ペアガラス
- 第1種換気システム



LDK①

落ち着いたブルックリンスタイルのリビングダイニング。無垢のナラを用い、クリア塗装で木肌を生かした。階段の4寸柱は構造材を黒に塗装してスタイリッシュに演出。



LDK②

リビングには薪ストーブを設置。冬は薪ストーブだけで家中あたたかい。薪ストーブ後ろの煉瓦も蓄熱効果抜群で、朝寒くないので目覚めが快適。



薪ストーブ

後ろの煉瓦だけでなく、床もタイルを採用。夏はひんやり、冬はポカポカなこの空間はいつも家族が集まってくる。



外観①

帰る方向によっては表情を変える外観。



外観②

オーストラリアで焼かれた煉瓦を一つ一つ手積みで施工する煉瓦積みの家。屋根は太陽光が載せやすいように片流れを採用しモダンに仕上げた。

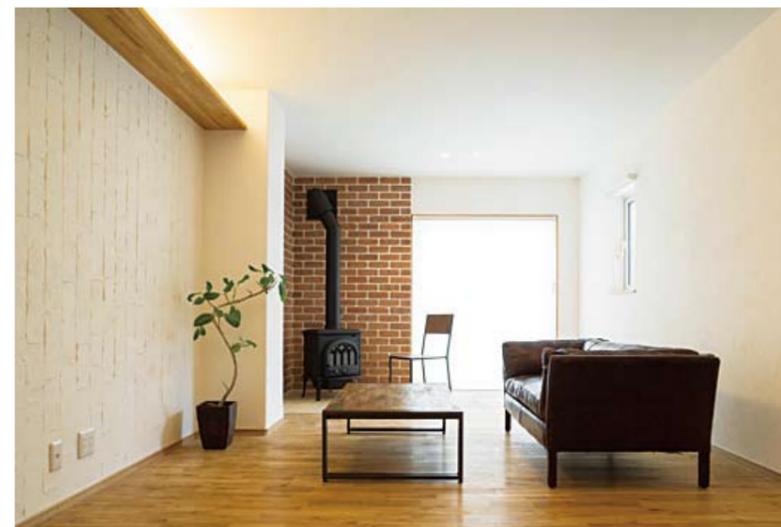
キッチン・ダイニング

キッチンは造作。こだわりの天然石の天板とカウンター下のタイル。キッチン横の格子もアイアンで考えた。1階はトイレ以外全く扉がない間取り。



リビング

間接照明が生み出す美しい光のグラデーション。無添加しつくい壁の塗り方も変化させて演出。大開口の窓の樹脂ペアガラスで断熱性を確保。光を有効に取り入れ熱が逃げないので一年中快適。



子供部屋

今は大空間。子供の成長に合わせて仕切れるように計画した。





省エネ基準への対応



広島市

省エネ対応の診療所併用の家

- 【建築主】 K様
- 【設計者】 菱和建设株式会社一級建築士事務所 ☎082-274-4685
- 【施工者】 菱和建设株式会社 ☎082-274-4685
- 【企画立案者】 ダブルネットワーク株式会社 ☎082-297-5026

設計・施工者の創意工夫点

自然の木をふんだんに使い、心が和む家を要望された施主に、(トリプルガラスサッシ、外断熱+セルローズファイバー重填断熱、全熱交換換気システム)を採用により省エネを実現しつつ、快適温湿度環境を提供できた。

事例の特徴

- 省エネ性能:Q値=1.1W/K
断熱の構成 屋根・天井:セルローズファイバー 200mm 壁・充填:セルローズファイバー 120mm 外張り:ネオマフォーム 20mm 開口部:樹脂サッシトリプルガラス 換気:第1種全熱交換型換気
- 県産材利用:25.3㎡
土台、大引き、梁、柱、間柱、窓台、まぐさ、母屋



全景

西側の大通りに面した立地で、1階の診療所は営業上できるだけ目立つように、2~3階の住宅は落ち着いた外観をとの要望に調和を図った。

診療所玄関

道路~診療所フロアまでを段差なしとした。



内観(1・2)

フローリングはオーク無垢材に自然塗料塗布品を使用し、天井には化粧梁を配した。



診療所内

Q値=1.1W/Kの断熱性能を実現し、天井付けエアコン8KW 1台で空調を賄う。

内観(3・4)

LDKと和室を仕切る建具にツガ無垢品を採用し、新建材の使用を抑えた。





地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応した事例



福山市

緑陽の家

【建築主】I様

【設計者】一級建築士事務所プラス・ワイ 岡本 康生 ☎084-944-8966

【施工者】ホーム株式会社 角田 浩樹 ☎084-987-3555



外観

雑壇状の敷地に対してセットバックさせ庭を確保。道路側からは平屋のような佇まいを見せる。



和室

和室からリビングを見る。木製サッシからリビング床へと光が差し込み陽だまりをつくっている。



ダイニング(2)

ダイニングからリビングを見る。杉板を貼った壁が緩やかに空間を分節する。この壁は構造体兼TV掛け。



リビング

リビングは勾配天井となっており2階の子供部屋へと繋がる。床は天然の杉板張りで足触りが気持ちいい。



ダイニング(1)

ダイニングテーブルの真上に天窓を設置。明るだけでなく食事をしながらふと見上げると空が見え楽しい。



塗装

家族みんなで力を合わせて床の塗装。天井材や家具・建具など建築主自らが塗装を行う参加型家づくり。



アプローチ

天井いっぱいの玄関引き戸。大きな花崗岩の踏み石とそれに続く土間は墨入りモルタル。軒裏は杉板張り。



玄関

玄関を見る。下駄箱と高さを揃えた地窓から植物がちらっと見え、その影が土間に影を落とし込んでいる。



洗面

脱衣室から飛び出した洗面台。廊下の一角に洗面コーナーとして据え付けることでより自由度を高めた。

設計・施工者の創意工夫点

この住まいは、1階から2階まで包み込む大屋根で構成され、道路側からは一見すると平屋の様な佇まいとした。その屋根断面はそのまま室内に反映され、リビングは大らかな勾配天井となっており2階の子供部屋へと連続していく。平面計画では、回遊性を持たせた家事・生活動線とし多様性をつくりだした。また建築主自らが塗装を行う'参加型の家づくり'とすることで、コストダウンを図ると共に住まいへの愛情を深めることに貢献した。

事例の特徴

●軒裏、居室、建具枠(鴨居、方立、敷居)、玄関及びリビング前の木製建具に杉材を使用



地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応した事例



安芸高田市

四季を感じる家

【建築主】 M様
 【設計者】 株式会社和田組 富野井 武志 ☎0826-57-1314
 【施工者】 株式会社和田組 米近 貢 ☎0826-57-1314
 【企画立案者】 株式会社和田組 吉富 奉行 ☎0826-57-1314

設計・施工者の創意工夫点

敷地は東面と南面が田園に接しており遮るものが無く、施主が昔から眺められてきた風景や記憶の中で暮らして頂けるよう計画した。東面及び南面に大きな開口を設け、庭を介し田園を身近に感じて頂きながら四季を感じる。夏の暑い時期は通風での生活を可能にすべく、LDKを吹抜けとし北面にハイサイドライトを設け、南からの通風が吹抜けから抜ける機能を持たした。吹抜けは2F個室とも面している為、家族を緩やかに繋ぐ機能も満たしている。

事例の特徴

- 床、壁、外壁に杉材を使用
- 長期優良住宅と同等以上(安芸高田市ブランド住宅規定)
- 安芸高田市ブランド住宅による第三者検査の実施
- 安芸高田市住めーる補助事業



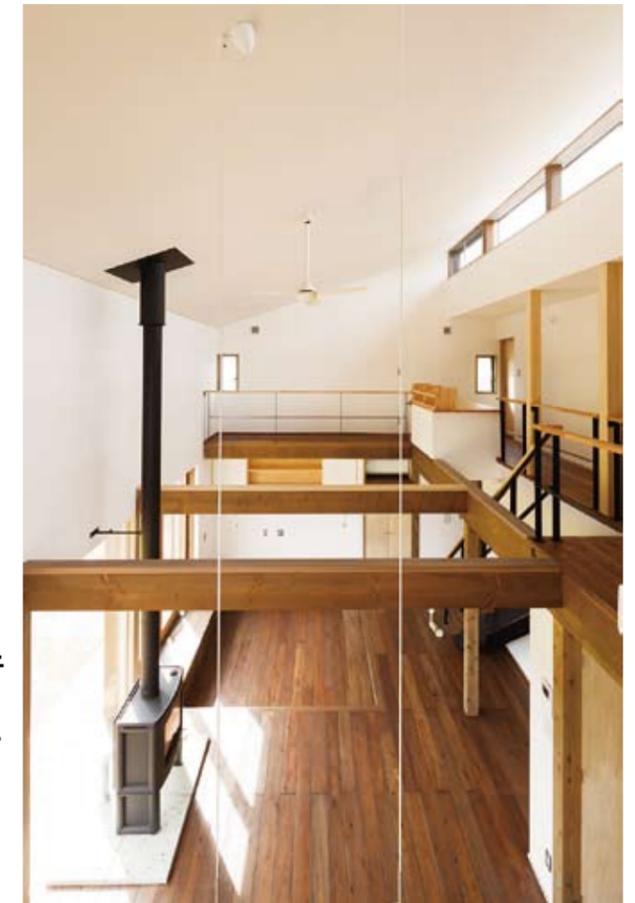
北面ファサード

北面は、アプローチと駐車スペースとした。駐車場からは軒下を通って玄関及びサービスヤードに繋がる。



南庭をみる

引込戸を引き込むことによりLDKと濡れ縁・庭とその先に広がる田園までが一体となる。



吹抜けの様子

夏場は風の抜け道となり、冬場は薪ストーブの温もりを家全体に配給し、また家族を緩やかに繋ぐ機能を持つ。

サービスヤードの様子

RC壁によりプライバシーを確保した。物干しや趣味であるバイクのメンテナンスを行う。



LDKより南面をみる

濡れ縁と庭の先には田園が広がる。



南面

南面と東面は田園に開けており、庭にはモミジや桜など四季を感じられる植栽が植えられている。



リビングをみる

一部を掘り込みとし大人数の来客への対応を可能にした。腰をかけて食事などを楽しめるようにした。



浴室から坪庭をみる

浴室には坪庭を設け外を感じながら入浴を楽しめる。





地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応した事例



広島市

長東で蘇った古民家

【建築主】 M様
 【設計者】 (株)ハイランドハウス一級建築士事務所 高原 慎司 ☎082-874-6747
 【施工者】 (株)ハイランドハウス 高原 慎司 ☎082-874-6747
 【企画立案者】 (株)ハイランドハウス 高原 慎司 ☎082-874-6747



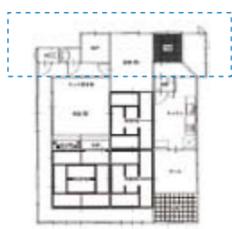
和室

家全体が傾いていたため、家中の全ての建具が開閉しにくい状況だったが、床下に数十本の杭を新設してジャッキアップを行うことで、水平垂直の取れた和室へと蘇らせた。

和室は外側(写真左側)に向けて大きく傾き、開かずの建具となっていた。



before 減築部分



after



全景

原爆の爆風にも耐えた築100年超古民家。かつての面影を残しつつ、家の構造を高めるという「リフォームと新築を融合した工事」となり、難易度の高い工事であった。地盤補強、杭打ち、基礎補強後等を慎重に計画し、性能向上を施した。

欄間

和室の欄間は、従来の建具を活用することで昔の面影を色濃く残した。



設計・施工者の創意工夫点

既存住宅は百数年の間に無秩序に増改築を繰り返していたが、改めて家族の生活を見つめなおし、思い切って減築を施すこととした。そしてその上で、床・柱の傾きを修正するため、家全体をジャッキアップして本来の構造体を生かすという大掛かりな計画となった。計画としては、基礎を新設して現在の耐震基準を満たす補強を行う。「解体」「調整」「造作」と工事を3期に分けて取り組んだ。断熱材は省エネ等級4に、開口部には省エネサッシを入れることで、気密性を向上させ、家全体を快適にした。また、デザイン面においても、和室や外観にはかつての落ち着いた面影を残しつつ、LDKは明るい和モダンな雰囲気とした。

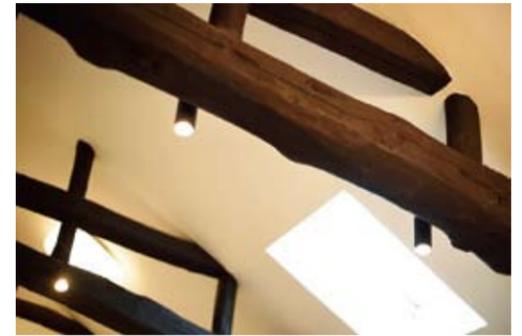
事例の特徴

- 長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金対応
- 県産材使用(1.2772㎡)
- 劣化等級2、耐震等級2、維持管理対策等級2、省エネルギー等級4、バリアフリー等級2



キッチン

以前よりも高さが増して開放感がありつつも和モダンな雰囲気のLDKに蘇らせた。



梁

立派な梁は、表面をきれいにして昔ながらのべんがらを塗装。刻み込まれた家の歴史を静かに醸し出す。

外観

基礎となっていた長石も家の周囲に敷設することで有効活用した。



玄関・玄関ホール

必要以上に広がった土間を縮小し、程よい広さの空間に縮小した。その縮小したスペースには、敷台を2段設け、バリアフリーにも対応した。



和室

古民家の一室は暗くなりがちだが、天窓を生かし、将来を見据えて居室・寝室として利用できるようにした。



リビング

先代の大工が組み上げた木組みの梁・柱を生かし、天窓を設け明るく演出した。



鋼管杭打



基礎



地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応した事例



尾道市

オーシャンビューの白い家

【建築主】 H様
 【設計者】 (株)加度商 加度 亮平 ☎0848-22-2693
 【施工者】 (株)加度商 加度 亮平 ☎0848-22-2693
 【企画立案者】 (株)加度商 加度 亮平 ☎0848-22-2693

設計・施工者の創意工夫点

高温多湿になる瀬戸内の気候に適した“木綿のシャツのような”自然素材が気持ちいい住まい。海のロケーションを活かすため、眺めの良い2階にリビングをプラン。使いやすさと収納力、デザイン性を考え食器棚を中心とした大型の家具を造り付けとしました。部屋全体に統一感が生まれ、利便性ととも、デザイン性が向上しました。

事例の特徴

- 長期優良住宅
- 省令準耐火構造



全景

真っ白な塗り壁と木部の茶、木々の緑が美しく調和。



LDK(2)

木の気持ちよさを存分に楽しむのは、子どもたちの方が得意かも。

LDK(1)
 小屋裏の梁を上手くデザインに溶け込ませた2階リビング。



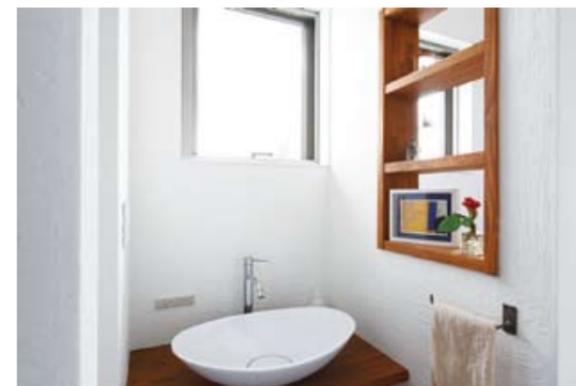
LDK(3)

ダイナミックな梁や素朴な照明が、港町のレトロな倉庫を改装したカフェのような雰囲気演出。



LDK(4)

窓の外には尾道水道の穏やかな景観が広がる。



洗面

スマートなデザインの洗面ならオープンな場所にあってもまったく違和感がない。



コテ跡のラフな表情も空間をやわらかく見せてくれる。



内観

明るさと暗さのグラデーションが心地よい。塗り壁の質感が光に宿る。



三原市

焔(ほむら)の家

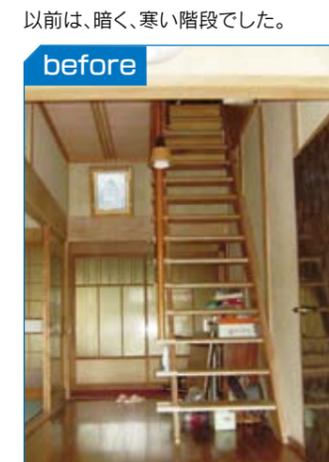
【建築主】 W様
 【設計者】 (株)住宅工房 創・リフォームウイズ ☎082-490-3676
 【施工者】 (株)住宅工房 創・リフォームウイズ ☎082-490-3676
 【企画立案者】 (株)住宅工房 創・リフォームウイズ 小原 直樹 ☎082-490-3676

設計・施工者の創意工夫点

亡くなられたお父様が50年前に建てた家で、当時、所有する地元大和町の山の木材を切り出し、家を建てたそうです。元々あった五右衛門風呂の焔(火)のある生活を薪ストーブに引き継ぎ、広く・明るく・暖かい、バリアフリーの空間をご提案しました。吹き抜けにすることで、明るさを確保し、ストーブが家全体に、暖かさを運びます。解体された木材と、今も山にある木材をストーブの焔の材料とし、無駄のないリサイクル住宅として生まれ変わりました。家族3世代が再び、1つ屋根の下に集い、焔を囲み、笑顔の絶えない生活をされています。

事例の特徴

- 廃材の再利用
- 断熱改修



三世代が集う、明るいリビングへ

元々はDKタイプの背面キッチンで、カーペット下は土間。冷気を直に感じる。1FLより、64cmも下がっており、お母様への負担が大きい。改装後は、段差を無くし、キッチンと仕切られていた客間を取り込み、明るく広がりのあるLDKと変化しています。

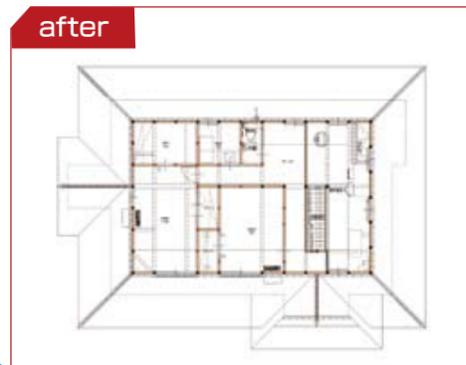
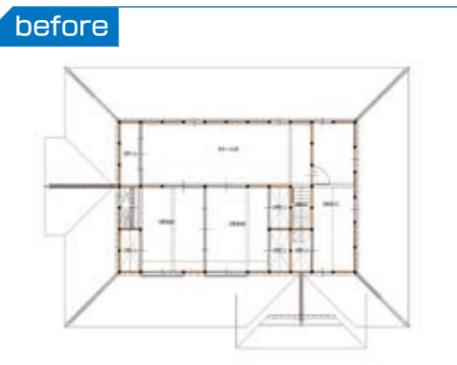
吹抜で家族の視線と声が通い合う時間も増えた

階段は、向きを変え、リビングに取り込みました。2Fホールからも団楽を感じることが出来、若いお子様とも自然に会話が弾む。所有されている山には、薪ストーブに使う薪が豊富にあり、タッチオープンで料理を楽しんでいるそうです。



1F

リビング上部を吹き抜けにし、2Fの窓からリビングに陽を落とすようにしています。対面キッチンの正面にストーブを設け、吹抜を通じ、2Fのホール(物干スペース)へ暖かさが上昇する。天井部には、シーリングファンを設け、空気の循環を促す。2Fの各部屋のドアを開け放てば、部屋の中まで暖かい。



2F

陽当たりの良いリビング上部は、元々、納戸として使用されており、この空間をリビングとつなげることで、明るさが激変しています。



定位置は、ご主人はストーブ前、奥様はキッチンでカウンター越しに娘さんたちとおしゃべり。お母様は窓の近くでひなたぼっこだそうです。





地域の気候風土や敷地の状況に的確に対応した事例



広島市

築45年戸建リノベの家

【建築主】〇様
 【設計者】(有)ホームサービス植木 ☎082-872-3434
 【施工者】(有)ホームサービス植木 ☎082-872-3434
 【企画立案者】(有)ホームサービス植木 ☎082-872-3434

設計・施工者の創意工夫点

築45年の木造住宅であったので、まずはインスペクション(建物検査)を行いました。そして、30代の住宅取得者向けのプランニングと同時に、耐震設計を行いました。中古住宅でも、安心&快適&カッコイイを実現しています。

事例の特徴

●中古住宅でも、プランニングと補強と性能向上をしっかりと行えば、住宅第一取得層に、求められる住宅になります。



全景

住宅団地の隅っこの三角形の土地に建てられた築45年の木造住宅。



外観② BEFORE



内観① AFTER

斜めの壁をキッチン収納として造作。広々とした明るいLDK。



内観② AFTER

キッチンは、リビング側にシンクを設け、反対側にコンロを設けた二列式のキッチンとなっています。



内観③ BEFORE

元々、壁付けのキッチンであり、収納場所がありませんでした。



内観④ AFTER

対面キッチンの腰壁に杉板を貼り、玄関タイルと同じ青色で塗装。



外観① AFTER

三角形の土地に合わせて凸凹の多い住宅。玄関周りのアンティークなタイルを残し、外壁を塗り替えました。青色のアンティークなタイルが印象的な外観となっています。

1Fプラン BEFORE



1Fプラン AFTER



内観⑤ AFTER

収納たっぷりの主寝室。



内観⑥ BEFORE

元々は、和室と床の間でした。